

会 議 録

会議録	令和4年度 第4回 豊田市公共交通会議
次 第	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議 事</p> <p>【協議案件】</p> <p>(1) とよたおいでんバスのダイヤ改正について</p> <p>①土橋・豊田東環状線</p> <p>②稲武・足助線</p> <p>(2) 地域公共交通確保維持改善事業について</p> <p>【報告案件】</p> <p>(1) 令和4年度バス上半期利用状況について</p> <p>(2) 豊田市公共交通基本計画の実施評価について</p> <p>4 連絡事項</p> <p>・次回会議の開催予定について 令和5年2月13日</p> <p>5 閉会</p>
日 時	令和4年12月19日(月) 午前10時00分～正午
場 所	豊田市役所 南庁舎5階 南51会議室

<p>出席者 (敬称略)</p>	<p>【委員】 松本 幸正 (名城大学) 山岡 俊一 (豊田工業高等専門学校) 泉田 一壽 (国土交通省中部地方整備局) 山内 三奈 (国土交通省中部運輸局愛知運輸支局) (代理 本田) 大林 益英 (愛知県都市・交通局交通対策課) (代理 江崎) 伊與田正康 (愛知県豊田加茂建設事務所維持管理課) 田中 斉 (愛知県豊田加茂建設事務所足助支所管理課) 阿久津正典 (豊田市都市整備部) 中田 繁美 (社会福祉法人豊田市社会福祉協議会) 杉本 幹雄 (豊田市高齢者クラブ連合会) 國枝 和行 (豊田市 PTA 連絡協議会) 吉村 一孝 (豊田商工会議所) 大竹 宏 (愛知県タクシー協会) 小林 裕之 (公益社団法人 愛知県バス協会) (代理 徳田) 大橋 成和 (愛知県交通運輸産業労働組合協議会) 川本 晃平 (名古屋鉄道株式会社) (代理 花村) 大野 淳 (名鉄バス株式会社) (代理 後藤) 横田 太 (豊栄交通株式会社) 寺澤 秀樹 (愛知環状鉄道株式会社)</p> <p>【事務局】 豊田市 都市整備部 交通政策課</p>
<p>資料</p>	<p>1. 次第 2. 令和4年度 第4回 豊田市公共交通会議 会議資料</p>

【協議案件】

(1) とよたおいでんバスのダイヤ改正について ①土橋・豊田東環状線

○事務局 【協議1-1】に基づき説明。

○委員 トヨタ記念病院とはどのような調整をしたのか。

○事務局 ロータリー内のバス停の位置や、救急車とバスの動線が交錯しないよう調整をした。

○座長 一般車と動線は重ならないか。

○事務局 部分的には重複する箇所もあるが、大きな影響はない。

○委員 タクシーとの調整はできているか。

○事務局 トヨタ記念病院とタクシー事業者で調整をしており、場所について了解が得られていると聞いている。

○委員 「5 バス停移設位置」の右下の拡大図をみると、バス停の左側に障がい者用駐車マスがあるように見受けられるがどのような状況になっているのか。

○事務局 障がい者用駐車マスに停めるためには出入り口が別にあるため、動線が重なることはない。

○座長 障がい者用駐車マスの左側から入るとのことか。

○事務局 はい。

○座長 バスを降りた方は、右下の方向へ歩いて行って病棟に行くということか。

○事務局 はい。

○座長 ダイヤについて、豊田市駅、三河豊田駅、土橋駅等の交通結節点での乗り継ぎは考慮

しているか。

○事務局 現状の利用者が困らないよう、極力上手く乗り継ぎができるよう調整している。

<協議結果：全員承認>

(1) とよたおいでんバスのダイヤ改正について ②稲武・足助線

○事務局 【協議1-2】に基づき説明。

○座長 ダイヤ改正後の乗り継ぎ時間が15分と設定されているが、遅延は考慮しているか。

○事務局 遅延を考慮してダイヤを設定している。

○座長 さらに遅延した場合、バス同士無線で連絡を取り、待ってもらうことはできるのか。

○事務局 運行事業者が違うものの、5分までは待機してもらうよう調整している。

○座長 現状のダイヤから20分遅れることになるが、現状の利用者にとっては不便にならないか。

○事務局 足助中学校の生徒の帰宅が20分遅れることにはなるが、足助中学校の了解は得られている。

<協議結果：全員承認>

(2) 地域公共交通確保維持改善事業について

○事務局 【協議2】に基づき説明。

○委員 27ページに記載のある藤岡地域バスの収支率について、令和4年度からの新協定により運行経費が減少したとあるが、運行内容に変更があったのか。近年燃料費等が高騰しているため、事業内容が同じにも関わらず運行経費が減少することは、あまり良いことではない。

○事務局 運行内容に大きな変更はない。プロポーザル方式で事業者を選定しているため、企業努力で減額に繋がっていると認識している。

○委員 競争のために本来必要であるはずの経費を削り、安全確保を怠ることがないように、行き過ぎた価格競争が起こらないように配慮していただきたい。

○座長 話を聞く限り、現在記載のある「協定により運行経費が減少した」という記載内容に違和感を覚える。「企業努力により運行経費が削減された」とするべきではないか。

○事務局 修正する。

○委員 27ページ下部資料の⑥事業の今後の改善点について、小中高生以外が今後利用する見込みはあるのか。

○事務局 地域ヒアリングを行った際に、高齢化が進む中で現状のバスが地域のニーズに合っていないという声が上がっていた。そのため次の協定までに、もう少し高齢者が使いやすいバスに改善ができないか、地域の中で議論が始まっている最中である。

○委員 同じく⑥の事業の今後の改善点について、稲武地域バスでは今後の具体策が記載されているのに対し、藤岡地域バスは漠然とした一般論の記載に留まっているように感じる。藤岡地域バスについても、より具体的に記載していただく方がよい。

○事務局 藤岡地域バスについても、地域のイベント等でPRを行う予定であり、また、昼間

帯の高齢者のニーズに合わせた運行の検討を行っていく予定であるため、そのように内容を修正する。

○委員 藤岡地域についても、藤岡支所や運営協議会と議論をしており、実施内容について稲武地域と大きく差はない。

○座長 中部様式のパワーポイントのスライド5ページ目について、目標に対する達成状況が記載されていないが、どのように読み取ればよいか。

○事務局 令和元年度までは順調に目標値に近づいてきていたが、コロナの影響を受け数値が落ち込んでいるため、目標達成が厳しい状況である。目標に対する達成状況について資料内に記載するよう調整する。

○座長 パワーポイントのスライド6ページ下部には、表の総括が記載されているため、5ページについても同様に記載をしていただきたい。内容については、先ほど説明があった内容に加え、令和2年度に減少したものの、令和3年度は改善に向かっていると記載していただくのがよいのではないかと。

○事務局 そのように修正する。

○座長 パワーポイントのスライド9ページ目について、課題として運行経費と運賃収入の差の拡大及びネットワークの形成を挙げられているが、その課題はどこから出てきたか。

○事務局 パワーポイントのスライド5ページ目に記載している。

○委員 パワーポイントのスライド5ページ目のネットワーク形成について、数値はどのように算出しているのか。年々数値が下がっているが、路線改編等の影響により乗れなくなった人がいるのか、アンケート方法による影響なのか教えていただきたい。

○事務局 市民三千人を対象としたアンケート調査の結果が記載されている。コロナの影響もあり、利用できる環境にあるものの利用できないと回答してしまう等、個人の主観に伴うものもあるため、実状とズレが生じてしまう場合もある。

<協議結果：全員承認>

※会議内の意見を反映し、修正すること

【報告案件】

(1) 令和4年度上半期バス利用状況等について

○事務局 【報告1】に基づき説明。

(2) 豊田市公共交通基本計画の評価について

○事務局 【報告2】に基づき説明。

○委員 3施策の実施状況について、観光企画乗車券の発行の取組み実績として、令和元年に実施したおいでんバスの1日乗車券に関する記載があるが、令和元年以降実施せず単発で終わってしまっているため、取組みを実施できたと言い切れるか疑問が残る。

○事務局 本取組みは、ラグビーワールドカップ開催に合わせてジョルダンアプリを使用して実施したものである。令和2年度も実施する方向で考えていたが、コロナの影響もあり観光分野での利用促進が停滞してしまっている。しかしながら、今後も継続して実施していきたいと考えている。

○座長 豊田市単独で実施するのではなく、my route や centX などと連携して実施すること

も検討してみてもどうか。

- 事務局 横断的に連携することも検討していきたい。
- 座 長 本案件に関して、協議会での承認は不要でよいか。
- 事務局 協議会で意見をいただくように言われているが、承認は必須ではないと聞いている。
- 座 長 進捗が遅れている施策について、今後の見通しはいかがか。
- 委 員 バスの利便性向上については、都心の再整備の中でバスターミナルを整備しながら利便性の向上を図ろうと考えている。経済状況等諸般の事情があるため、確実に実施するとは言いづらいが、一つの目標として、アジア大会が令和8年に予定されているため、その時までにある程度進めていきたいと考えている。達成に向けて、関係機関と協議しながら進めている状況である。
- 座 長 3施策の実施状況内の進捗が遅れている施策に記載のある利用促進会議の活用による活性化策検討とは何か。また、その状況はいかがか。
- 事務局 当初は基幹バスなどの利用促進会議を設けて事業者を交えて検討することを想定していたが、現状、会議体を設置するというよりは、担当者が個別で対応している状況になっている。
- 座 長 次期計画での対応はどうか。
- 事務局 利用促進策については、会議体での検討ではなく、違う形で引き続き検討していくことになっている。
- 委 員 進捗が遅れている施策内の豊田市駅周辺の道路の整備について、具体的にどういったものを指されているのか。また、遅れているものに対してのケアについて教えていただきたい。
- 事務局 都心環境計画に基づく、豊田市駅周辺の再整備に合わせて、道路も整備するというものであるが、計画そのものが少し遅れてしまっている状況にある。
- 委 員 10月に施行された豊田市地域公共交通計画では、現在の状況も踏まえて、新しく整理し直しているため、計画としては進めていく予定である。

以上